AreaCopa

areacopa.com/ja/blog/shonen-sakka-shutsujo-jikan

少年サッカーの出場時間チェックリスト

交代カード、記録表、保護者会、難しい場面、クラブの方針

この資料はareacopa.comが提供しています。

チーム名 _____ シーズン _____ 指導者 _____

交代カード（8人制、20分ハーフ、10分ごと）

試合の前に、区間ごとにピッチに立つ8人に印をつけます。交代は前半10分、ハーフタイム、後半10分の3回です。1試合に1枚使い、再出場ができる大会が前提です。

選手	0〜10分	10〜20分	20〜30分	30〜40分	分

交代カード（11人制、35分ハーフ）

前半と後半を20分と15分に分け、どの区間も11人に印をつけます。再出場と11回の交代が前提です。交代が最大5名の大会では、ハーフタイムの一括交代にします。

選手	0〜20分	20〜35分	35〜55分	55〜70分	分

出場時間の記録表

試合ごとに出場した分数を書きます。5試合たってラインを下回る子は、次の2試合で補います。足りなければページをコピーします。

選手	第1戦	第2戦	第3戦	第4戦	第5戦	第6戦	第7戦	第8戦	第9戦	第10戦	合計（分）

保護者会：出場時間の話（5〜10分）

シーズン最初の保護者会で話す組み立てです。

- [ ] 50パーセントは日本の規則ではないと伝える（アメリカのAYSOとUS Soccerの数字）
- [ ] JFAの大会ガイドラインは義務ではなく目標だと伝える（U-8は最低20分、U-10は最低30分、U-12は試合時間の3分の2）
- [ ] 参加する大会の交代の決まりを伝える（8人制は自由な交代、11人制は最大5名）
- [ ] チームが取る最低ラインを伝える（中学生年代までは試合ごと、高校・ユース年代はシーズン平均）
- [ ] カップ戦の例外を前もって伝える（準決勝からは先発を力で選び、ハーフタイムの一括交代は残す）
- [ ] 練習の欠席との結びつきを説明（小学5年生以上：連絡なしの欠席はベンチから始め、最初の交代で入る）
- [ ] 指導者の子の起用は、別のコーチが決めると伝える
- [ ] 記録表はチームの保護者だけが見られると伝える（公開しない）
- [ ] 意見の伝え方を伝える（練習のあとに5分、まず指導者に直接、次にクラブの代表に）

難しい場面をシーズンの前に決める

決まりが現実とぶつかったときに、何をするかを決めておきます。

- [ ] カップ戦の決まりを書面で決める（予選は最低ラインを守り、準決勝からは先発を力で選ぶ）
- [ ] 大所帯の計画：8人制の出場は原則16人以内で、17人以上なら2チームに分けるか、試合ごとに出る人を回す
- [ ] いちばん苦手な子：時間を減らさず、出す時間帯を選ぶ（終盤ではなく前半）
- [ ] 指導者の子の起用は、別のコーチが決める（2人で確認）
- [ ] 欠席の決まり：連絡なしに休んだ子はベンチから始め、最初の交代の時点で入る（小学5年生以上）
- [ ] 試合の種類ごとに決める：練習試合、リーグ戦、カップ戦の予選、準決勝から
- [ ] やめる兆し：5試合たってラインを下回る子は次の2試合で補い、1週間のうちに本人と保護者に直接話す

クラブ全体の方針を決める

役員会とクラブの代表のための手順です。

- [ ] 年代ごとの最低出場時間を書面で決める（1ページの方針）
- [ ] 難しい場面の扱いを方針に書く（カップ戦、病気、指導者の子）
- [ ] 誰が決めるかを決める：指導者、副の指導者、代表
- [ ] 苦情の上げ方を決める：まず指導者、次にクラブの代表
- [ ] 出場時間の記録をチームの保護者に見せる（公開しない）
- [ ] 方針を役員会で決め、クラブのホームページに公開

メモ